

『冬の友』の手引き (令和6年度版)



冬休みの指導に『冬の友』をご活用ください

『冬の友』は、戦後より『夏の友』と同じように冬休みの計画的な生活や冬休みのガイドブックとして、岐阜県の教師の力によって編集・出版されてきました。『冬の友』は、冬休みに子供たちが豊かな体験をしたり、新たな興味関心を深めたりすることを願って編集しています。そんな歴史を感じながら、じっくり手にとって見てください。『冬の友』を使って、子供たちが充実した冬休みを過ごせるようご活用ください。

『冬の友』が届いたら、教師がまず目を通しましょう

- ・まず、どんな内容があるのか、じっくり目を通してください。
- ・『冬の友』のよさを、まず先生が感じてください。

全員購入

『冬の友』とのすてきな出会いを工夫しましょう。

- ・子供たちが目を通す時間をつくってください。
- ・宿題ではなく、ガイドブックであることを話してください。

『冬の友』を使って、冬休みの計画づくりをしましょう。

- ・読むところ、体験するところを決めさせてください。
- ・家族で相談して計画づくりができるようご指導ください。

希望購入

- 『冬の友』(見本)を子供たちにわかりやすく紹介してください。
- 保護者会などで、『冬の友』(見本)を見せて冬休みの過ごし方を話してください。

○購入希望をとってください。

子供たちへの事前指導のポイント

- ① 『冬の友』を事前に見せましょう。
- ② 『冬の友』をもとに、冬休みの計画を立てさせましょう。

保護者への事前指導のポイント

冬休み前の学級懇談会(保護者会)や学年・学級通信などで

- ① 『冬の友』をガイドブックとして活用することを伝えましょう。
- ② 『冬の友』の中身とともに、「おうちの方へ」にも目を通してもらいましょう。
- ③ 『冬の友』の計画づくりに参加していただき、体験の重要性を伝えましょう。
- ④ 校長会のホームページに掲載する冬の友の手引き「冬の友って・・・？」を活用してもらいましょう。

子供たちへの事後指導のポイント

『冬の友』を集めたら

- ① 子供たちの冬休みの頑張りを見届けましょう。(冊子への評価は、シール、スタンプ、一言のコメントなど負担にならない方法で)
- ② 学習ができていなかった部分を確認し、指導の参考にしてください。
- ③ なるべく早く、子供に返却しましょう。
- ④ 時間があれば冬休みの宝物(体験等)発表会が行えるといいですね。

◇版画に挑戦させよう

どの学年にもはがき版画コンクールの紹介ページがあります冬の体験を版画に生き生きと描いてほしいものです。ぜひ、ひと声かけて挑戦させてください。

◇こんな紹介ができれば

希望購入の学校で、担当の先生がテレビ放送で全校に紹介したり、見本本を子供たちが自由に見ることができるように展示したりしたところ、『冬の友』を活用する子供が増えました。





表紙で遊ぶ楽しさを感じさせよう！

表紙は、日本の遊びなど伝承遊びを伝えたいと願って制作し、家族や友達と楽しく遊ぶコミュニケーションを大切にしています。付録を使って遊んでください。

1年 ふくわらい 2年 オセロ 3年 すごろく
4年 ことわざ遊び 5年 名産物カード 6年 対戦ゲーム

- ・子供たちに、遊ぶ楽しさを感じられるよう工夫しています。
- ・家族や友達と一緒に遊べる楽しい表紙遊びです。

新しい年への願いをもたせよう！

「お話の国からおめでとう」は、実際にその作品の作者に書いていただいたものです。

- ・新年、どんな1年にしたいか、考えるきっかけになります。
- ・どんな一年にしたいか家族で話題にして、今年がんばりたいことなどを書いて残していくとよいですね。



豊かな冬休みを過ごすための参考にしよう！

「健康」「冬の科学」「作って食べよう」など、子供たちが冬に体験できそうな内容を掲載しました。

- ・生活が乱れがちになる冬休み。「健康」のコーナーでは、健康な生活を送るためのアドバイスを掲載しています。
- ・冬休みは、冬ならではの体験ができる時。じっくり読ませて、体験への意欲づけができるとういですね。



冬休みの読書生活の参考にしよう！

「読書」のコーナーでは、物語だけでなく知識を広げるいろいろなジャンルの本や新しく出版された本を紹介しています。

- ・いろいろな本を読むための参考にさせましょう。
- ・「わたしが読んだ本」(1~4年)「わたしの読書記録」(5~6年)をご活用ください。



郷土岐阜県の自然や文化を確かめよう

県内各地で行われている新年を迎える伝統行事やお正月の行事、冬の気候を生かした生活などを紹介しています。ふるさと岐阜を学ぶことで、郷土に愛着をもつ子に育ててほしいと願っています。

- ・子供たちが興味をもつように、冬休みの事前指導のときに内容にふれましょう。
- ・懇談会などで保護者にもぜひご紹介ください。

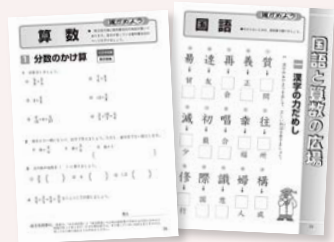


国語と算数 これだけは理解させよう！

「国語と算数の広場」は、「これだけはどの子にも理解してほしい」という基礎基本の問題を掲載しています。これまでの学習が定着しているか確かめに使ってください。令和6年度版の教科書に準拠しています。

- ・まとめてやるのではなく、計画的に取り組ませましょう。
- ・必ず答え合わせをして、できたかどうか確認させてください。低学年は家族と、高学年は自分で行うようにしてください。
- ・できなかったところや分からなかったところは、教科書や辞典で調べ、繰り返し学習するようにご指導ください。

※算数は「大日本図書」と「東京書籍」の2社の教科書で学習する内容に合わせて問題が作ってあります。片方の教科書では、まだ習っていない単元も含まれていますので習ってから取り組むようご指導ください。



SDGsについて考えよう！

美しい地球を守るために、ごみの分別やリサイクル、水や森を守るために行われているいろいろな取り組みを紹介しています。

- ・じっくり読ませて、自分にできることを考えることができる力を子供たちにつけていきましょう。

